

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものによきわしい自然と誇りに生きましよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましよう。

奈良は静寂のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。

奈良はのびのびと、市民の創意で、傳統と開拓のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

# 奈良市民だより

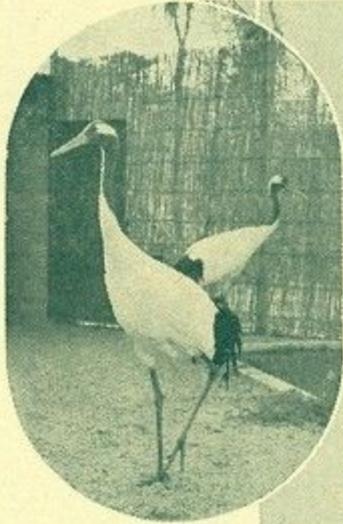
No. 340

市民のうごき

3月1日現在(前月比増・△は減)

人口	258,094人 (269)
男	125,171 (190)
女	132,923 (79)

世帯数 80,775 (△86)



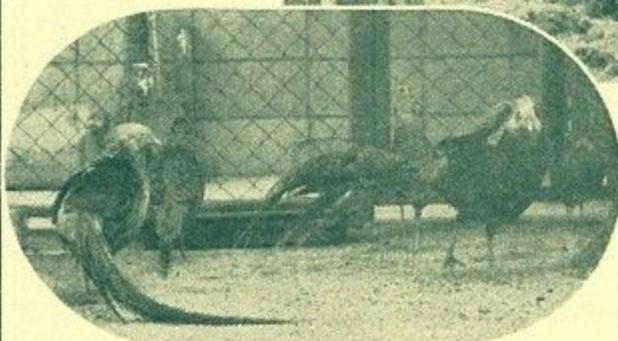
## 写真

【右】「西安の森」で友情の拍手の中を植樹祭に向かう閩明組長ら動物護送小組の一行と鍵田市長、西安市から贈られた【上】タンチョウヅルと【下】ベニハラキジ(あやめ池動物園で)



# 西安から友好の贈りもの

早柳と丹頂鶴、紅腹錦鶏



友好都市中国西安市から友好親善の贈りもの、丹頂ヅルとベニハラキジ、早柳(かんりゅう)の苗木をたずさえて、閩明同市革命委員会常任委員を組長とする西安市動物護送小組の一行五人が三月二日夜奈良を訪れました。明け同三日午前十時、市民・市職員ら多数の出迎えをうけて奈良市役所を表敬訪問、市長応接室で鍵田市長、小林市議会議長、岡田同副議長、吉村正一郎市国際友好親善委員会副会長らいずれも西安市を友好訪問したことのある、旧知の友となごやかに歓談しました。

鍵田市長は「丹頂ヅルは奈良市の子どもたちが愛称をつくってお待ちしていました」と歓迎しました。このあと、さっそく市内法蓮町池の「西安の森」で植樹式。一昨年来賓した友好代表団の孫長興団長(前西安市革命委員会主任)らの手で植えられた雲竜柳の林の中で市民代表二百人とともに、持ってきたばかりの早柳三百本を植樹しました。

午後はあやめ池遊園地の動物園で丹頂ヅルとベニハラキジの贈呈式と、丹頂ヅルの愛称命名式が行なわれました。式場にはあやめ池・西大寺北両幼稚園児ら約五百人のこどもたちでいっぱい。あやめ池幼稚園の山本恵子ちゃんら五人が一行に花束を贈りました。

鍵田市長は「贈っていた丹頂と美しいベニハラキジは子々孫々にわたる奈良と西安両市の友好の象徴として心をこめて大切に育てていきたい」とあいさつ。そして丹頂ヅルの愛称を誰に(ナツシ)と命名しました。

閩明組長は「丹頂ヅルとベニハラキジをお贈りできますことは、私たち両市のもう一つの友好と中日両国人民の間の友情増進に役立つものと確信しています。この動物たちが奈良市の大地で成長し、繁殖し、数多くの子どもたちと奈良市民に喜ばれるものとなることを固く信じています」とあいさつ。鍵田市長、閩明組長、今里近鉄社長の三人が丹頂鶴舎の前でテープカット、つづいて愛称の名付け親である岩本仁君(辰市小四年)ら三人がタヌキのひもを引っぱると愛称「奈西」安良と書いた垂れ幕が下がり、愛称を披露しました。贈られた丹頂ヅルは一つがいで、雌雄とも六歳。高さはいずれも約一・五メートル。ベニハラキジは十羽(五つがいで)で、雄は名の通り腹が深紅の羽根におおわれ、首筋はカーキ色と黒のしま模様。背中は金色の羽根のまわりに緑や紺の羽根をちりばめ、尾は茶に紅じまの美しいもの。雌は茶と黒のしま模様で地味な柄。いずれも生まれて一年程度。

これら贈られた動物は日本の気候や風土になじむまで約一か月間は一般に公開はされないが、四月には美しい姿を市民の前に現わします。

夜は奈良ホテルで市民代表三百人が参加して歓迎大会が開かれ、鍵田市長、閩明組長が要旨別項(二面所載)のようなあいさつをしました。

一行は奈良市での公式行事を終え四日から五日間、同じく西安市との友好都市京都市を訪ねたあと、同九日から十一日まで東市地区のイチゴ栽培を見学したり、鹿寄せ、唐招提寺、薬師寺、平城宮跡、法隆寺などを参観し、市内各地で市民と友好交流の輪を広げました。

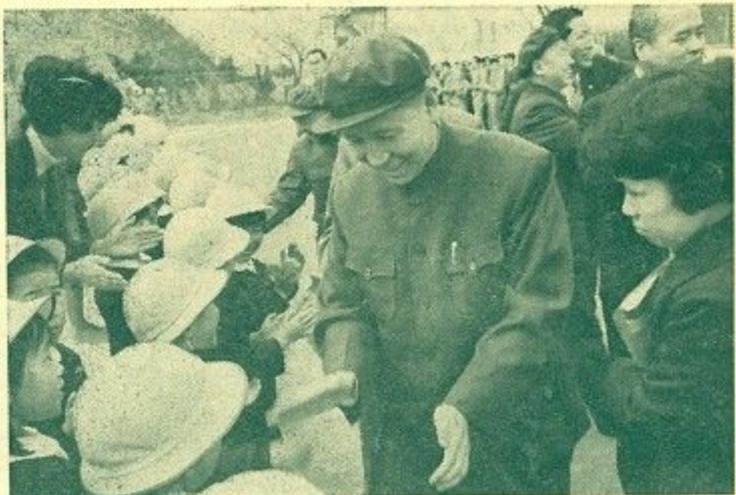
二面に関係記事と写真



▲閻明組長とがっしり友好の握手を交わす  
鍵田市長（市庁舎玄関前で）



▲タンチョウウツルの命名幕のひもを  
引く名づけ親三人の学童



▲笑顔で幼稚園児と交歓する西安使節団の人々  
（西安の森で）



▲ツルとキジ贈呈式に集  
まった幼稚園児と学童



▲閻明組長（左）と友好の植樹する鍵田市長



▲女子学童と仲よく早柳を植える西安  
市湯雲平副組長

### 西安から 動植物護送使節 をむかえて

#### 鍵田市長のあいさつ（要旨）

すでに親しい友人である西安市革命委員会  
常任委員閻明先生と西安市動植物護送小組の  
皆さん！西安市からはるばる動植物を西安  
市革命委員会主任王林先生をはじめ西安市民  
の友情を携えてお届けいただきありがとうございます。  
西安市民あげて熱烈に歓迎いた  
します。

奈良・西安両市の友好関係は、一九七四年  
二月一日に友好都市提携以来、相互の代表団  
の友好訪問を通じて日増しに深まりつつあ  
り、誠によろこばしい限りであります。とく  
に、このたびはかねてから協議を続けてきた  
友好交流事業の一つとして、動植物の友好交  
換が実現し、两市親善のため同慶にたえませ  
ん。

本日お届けいただきました動植物は、奈良  
・西安両市千年の友好の象徴として、子々孫  
孫にわたって大切に育てていきたいと存じて  
います。  
千二百年前、中国の都長安を模して造営さ

#### 閻明組長のあいさつ（要旨）

尊敬する鍵田忠三郎市長はじめ、尊敬  
する奈良市友人の皆さん。  
今夜私たちは鍵田忠三郎市長先生主催の歓  
迎大会に出席し、奈良市各界の友人の皆さん  
と楽しく一堂に会し、友情を語り合うことを  
大いに喜んでおります。

私は西安市動植物護送小組を代表し、鍵田  
市長の心こもった招待と、先ほどの情熱あふ  
れるあいさつに心からお礼申し上げます。同時  
に、この機会に奈良市各界の友人の皆さんと  
奈良市民の皆さんに親しいあいさつをお贈り  
いたします。

中日両国は一衣帯水の隣国であり、西安と  
奈良両市は悠久な友好関係をもっておりま  
す。中日国交正常化をして以来、私たち両国  
・两市市民の友情は、ますます深められてく

れた当時の日本の首都平城京の朱雀大路に街  
路樹として植えられていた早柳（かんりゅう）  
を、西安市の友情ある好意によって、ふ  
たたび奈良の地に迎え、植えることができ大  
変うれしく存じます。きょう記念植樹をして  
いただいた西安の森はもとより、奈良市では  
近い将来朱雀大路を復元して早柳の並木を往  
時の姿に再現すべく準備を進めています。こ  
の早柳が大きく成長して友好の樹として繁茂  
するよう育てていきたいと念じています。

丹頂鶴は、日本でも昔から寿命千年という  
縁起のよい鳥として親しまれてきたものであ  
り、最近では国際的な保護鳥とされている貴  
重な鳥でもあります。そのような丹頂鶴を友  
好のしるしにいただき、西安市民の奈良市民  
に対する友情の深さに心から感謝しておりま  
す。

また、紅腹錦鶏（ベニハラキジ）という美  
しいキジ五つがいいただき、奈良市のごど  
もちは大喜びで、これらの動物たちを大切に  
育て、二世、三世の誕生とともにいっそう  
友好の心も増進するよう育ててまいりたいと

るのを私たちは喜んでいました。  
一九七四年二月に私たち两市は友好都市提  
携をしていらい、两市友好代表団の相互訪問  
などの友好活動によって、両国・两市市民の  
相互理解と友情を深めました。とくに鍵田忠  
三郎市長先生は、中日両国、西安・奈良両市  
人民の友情を進展させるために長期にわたり  
努力を続け、私たちに深い印象を与えてく  
れました。

このたびの私たちの奈良訪問は、わが市よ  
り貴市に丹頂鶴と錦鶏および柳の苗を護送す  
るためであり、奈良市民に学ぶためでもあり  
ます。このことは私たち两市間の一つの友好  
活動であり、西安市人民の奈良市民に対する  
深い友情と、中日友好事業に対する美しい願  
望を披露するものであります。  
これら動植物は、必ず西安・奈良両市民の  
友情のシンボルとなり、奈良市民のつちか

存じております。  
日中両国の友好関係は相互の人物・文化の  
交流を通じて、日増しに発展しつつあります  
が、なお一層友好の努力を重ねなければなら  
ません。両国が子々孫々にわたって友情を発  
展させるためには、日中両国政府の共同声明  
の精神と原則に立ち、道義の友好態度でもつ  
て、覇権の問題を解決し、日中平和友好条約  
を一日も早く締結しなければなりません。奈  
良・西安両市の友好関係の増進はその意味か  
らも意義があり、日中両国の友好団結の強化  
はアジアの平和、ひいては世界の平和と繁栄  
に貢献するものであります。私たち奈良市民  
は、その日中間の友情の精神的な繋帯（じん  
たい）を固くする使命を果さなければならな  
いと存じます。本日、西安市よりお迎えした  
閻明先生ほか友人の皆さんは、日中友好と奈  
良・西安の友情増進に大きな功績をあげられ  
ました。この歓迎会は奈良・西安両市の友好  
の増進、日中友好の発展のために大いに意義  
があるものと存じます。

育てによって、中日両国、西安・奈良両市民  
の友情の発展に伴って成長し、大きくなり、  
繁殖すると私たちは信じております。  
友人の皆さん、私たちはすでにおさめた西  
安・奈良両市友好交流の成果を大いに喜び、  
将来なすべきことはたくさんあります。私た  
ちは中日両国政府の共同声明の諸原則を基礎  
として、中日平和友好条約を一日も早く締結  
するために、中日両国、西安・奈良両市民の  
友好関係をたえまなく発展させるために共に  
努力し、新たな成果を上げましょう。

ここで私は、中日両国、西安・奈良両市民  
の友情をたえまなく発展させ、中日両国人民  
が子々孫々にまで友好的につき合っていくた  
め、さらに鍵田忠三郎市長先生はじめ、ご在  
席の友人の皆さんのご健康のために乾杯いた  
したいと思っております。

#### 動植物護送小組名簿

- 組長 閻明 西安市革命委員
- 会常委員 公室負責人 副組長
- 湯雲平 西安市革命委員会外
- 事処副組長 劉航 西安
- 市園林処革命委員会副主任、
- 孫午寅 西安市動物園飼育組長
- ▽通訳 鹿悦貴氏

#### 雄は奈良 雌は西安

丹頂鶴に愛称  
市では西安市から贈られた  
丹頂鶴の愛称を市内の幼稚園  
児・小中学生から募集、その  
中から

オスには奈良（ナツシ）  
メスには西安（アンラ）  
という名が選ばれました。  
「奈良」の名づけ親は市内  
西九条町岩本仁君（辰市小四  
年）、「西安」は北風呂町大  
倉恵美子さん（梅井小三年）  
と阪原町森田明美さん（大柳  
生小五年）。応募数二百六十  
二通のなかから愛称審査委員  
会が選んだもので、「奈良」  
西安両市にちなんだもの  
「親しみやすい名前である」  
というところからこの名が選  
ばれたもの。  
三月三日あやめ池遊園地で  
の丹頂鶴とベニハラキジの贈  
呈式について命名式が行な  
われ、招待された三人の名づ  
け親が鶴舎の前で、タヌ玉を  
割ると「奈良」「西安」と書  
いたタレ幕がさがり、参列の  
子どもたちから拍手で迎えら  
れました。また名付けた三人  
には鍵田市長からごほうびが  
贈られました。

# 三月市議会開く

## 新年度予算案など審議

昭和五十一年度の施政方針と市予算案などを審議する奈良市議会三月定例会は、三月十二日召集され、本会議で会期を同三十一日までの二十日間と定め、そのあと五十一年度関係議案八件、五十一年度関係では新年度一般会計予算案をはじめ下水道事業費などの特別会計予算案、条例の一部改正案など二十八議案を

上程、鎌田市長から提案説明がありました。新年度の予算関係では一般会計予算二百二十九億四千六百円で、前年度当初予算の六・一％増、特別会計は下水道事業、国民健康保険など十二特別会計八十六億四千二百九十一万五千円、水道事業、宅地造成事業の両公営企業会計予算百六億五千八百二十六

# 校倉を水幕で包む 文化財防護へ防火訓練

## 文化財防護へ防火訓練



去る二月二十九日から三月十三日まで展開された春の全国火災予防運動の一環として、三月十日正倉院警防合同防火訓練が行なわれました。午前十時三十分、正倉院正倉(校倉)あざくらから出火という想定で、皇宮警察本部消防隊と地元民が協力した特設消防隊が出動、放水銃などで防火、駆けつけた市消防本部のポンプ車三台も加わり総勢七十八

があらゆる消火機能を発揮して放水、千二百余年の風雪に耐えぬいた国宝校倉をすっぽりと水のベールでつつみましました。この運動期間中、市消防本部では全国統一標語「幸せを明日につなぐ火の始末」に加えて、市の標語「平和な家庭に火事はなし」をかかげ、七年連続日本一火事の少ないまちの誇りにこたえるため、予

元明天皇陵に参拝する鎌田市長らの一行



防消防一途に徹して運動を展開しました。前期一週間は車両防火を中心に、後期一週間は広く一般の火災予防に重点を置いて立入り検査、家庭の防火診断、消火・避難・防災などの訓練を実施しました。この正倉院の合同防火訓練もその一つで、日本の古都として世界に誇る国宝や重要文化財などを八十四カ所も市内に持っている市消防隊として、とくに民族の大切な遺産の守りに力を注いでいます。なお、この運動期間中奈良市では三月六日に山林火災(一人死亡)建物火災各一件がありました。

# 市民相談

- 市政相談**  
市庁舎別館—平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。  
西部公民館—毎週火曜日午後1時～4時。
- 法律相談**  
市庁舎別館—毎週月曜日午後1時～3時半は弁護士直接相談。平日は午前9時～午後4時に「相談カード」を渡します。  
4月中の担当弁護士(敬称略)。  
5日 坂口 勝 12日 福本 一  
19日 田川和幸 26日 辻中栄太郎
- 心配ごと相談**  
市庁舎別館—毎週金曜日以外の平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。
- 人権相談**  
毎週金曜日午前9時～午後4時。  
4月中の担当相談員(敬称略)。  
(市庁舎別館) (西部公民館)  
2日 赤堀 綾子 植松 宗平  
9日 荒木 武男 上田 政治  
16日 高石 武一郎 東雲 茂男  
23日 五嶋 光恵 米浪 勝之助  
30日 法務局職員 法務局職員
- 行政相談**  
市庁舎別館—毎月第2・4水曜日午前9時～午後4時。  
西部公民館—毎週金曜日午後1時～4時。  
4月中の担当相談員(敬称略)。  
(市庁舎別館) (西部公民館)  
14日 近東弘七 2日 桜井利雄  
28日 岩野政一 9日 羽瀧幹夫  
16日 竹 博美  
23日 桜井利雄  
30日 羽瀧幹夫
- 家庭児童・母子相談**  
市庁舎別館—毎週水曜日午後1時～4時。  
市社会福祉事務所—平日午前9時～午後5時。土曜日は正午まで。
- 消費生活相談**  
市庁舎別館・西部公民館—毎週火・木曜日午前10時～午後4時。
- 家庭問題相談**  
西部公民館—毎週水曜日午前10時～午後3時。

# 歴代御陵を巡拝 平城遷都記念の日

奈良の地に都がうつされた和銅三年(七一〇年)三月十日を記念して、毎年行なわれている奈良朝歴代天皇の御陵参拝が、ことしも鎌田市長はじめ市内の社寺関係者、市観

光協会の役員ら三十人が集まって元明天皇陵をはじめ七代天皇陵(淳仁天皇陵は淡路島にあるため後日参拝)を巡拝。このあと平城宮跡の保存願彰につくされた人たちの慰霊祭が営まれました。

この催しは昭和三十五年に平城遷都千二百五十年を記念して始められたもので、ことしで十七回目。なお恒例の遷都祭時代風俗大行列はことしはとりやめになりました。

# 愛の福祉電話

## 百台が開通へ

### 独り暮らし老人へ心の回線

市では昨年十一月、独り暮らしのお年寄りに、愛の福祉電話、五十三台を架設、開通してよこぎれましたが、その後も架設工事が進み、三月二十五・二十六両日には新たに四十七台が開通する運びになりました。これで今年度の設置目標百台がすべて開通するわけです。

# 奈良市公報

市教育委員会社会教育課文化係(紀寺町、電話〇五〇一)では、市が明治三十六年から発行している「奈良市公報」のうち、つぎの年次のものを採集しています。これは、いま編集をすすめている「奈良市史歴史編」(近代・現代)で必要とするもので、これらをお持ちの方はぜひご連絡ください。  
明治三十三・三十四・三十五  
大正一・二・三・四・五  
昭和一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二  
二十・二十一・二十二  
同十四日 佐紀中町一丁目岩田庄松さんから二十万円。  
同十七日 中野市中野市一丁目から東塔様模型を「老春の家」へ。  
同二十日 芝辻町池田民志さんから奈良警察署を通じて百円。  
同二十一日 中野市代治さんから二百五十円。  
同二十二日 二名町匿名氏から十万円。

# をさがし

同十四日 松井三三さんから京都府向日町警察署を通じて三万円。  
同十五日 ひばりが丘町長谷川雅之さんから亡母の供養として老人施設へ三万円。  
同十六日 法華寺から善意の小箱義金四千六百円。  
同十七日 あやめ池町匿名氏から一万円。  
同十八日 あやめ池北二丁目貴田博さんから幼児用すべり台を佐保山保育園へ。  
同十九日 上三町町神楽斎さんから奈良警察署を通じて千円。  
同二十日 佐紀中町一丁目岩田庄松さんから二十万円。  
同二十一日 中野市中野市一丁目から東塔様模型を「老春の家」へ。  
同二十日 芝辻町池田民志さんから奈良警察署を通じて百円。  
同二十一日 中野市代治さんから二百五十円。  
同二十二日 二名町匿名氏から十万円。

市では林さんの善意をいかし、新庁舎・福祉事業に使うことにしました。

**善意銀行**  
昨年分  
九月八日 南城戸町吉田製作所から三輪そうめん一箱。  
同九日 大宮町三丁目坂野田可さんから奈良警察署を通じて千円。  
同十日 梅井町村上二夫さんから定期便三万円。  
同十一日 東町堀野キクヨさんから老人福祉のために五千元。  
同十二日 西田出雲所扱い匿名氏から千二百四円。  
同十三日 西大寺野神町中井育子さんから衣類六袋。  
同十四日 梅井地区民生委員協議会から善意の小箱義金九千七百六円。  
同十五日 法華寺から善意の小箱義金四千六百円。  
同十六日 あやめ池町匿名氏から一万円。  
同十七日 あやめ池北二丁目貴田博さんから幼児用すべり台を佐保山保育園へ。  
同十八日 上三町町神楽斎さんから奈良警察署を通じて千円。  
同十九日 佐紀中町一丁目岩田庄松さんから二十万円。  
同二十日 中野市中野市一丁目から東塔様模型を「老春の家」へ。  
同二十日 芝辻町池田民志さんから奈良警察署を通じて百円。  
同二十一日 中野市代治さんから二百五十円。  
同二十二日 二名町匿名氏から十万円。

# 新年度奨学生募集

## 来月末までに福祉第一課へ

経済的な理由で修学が困難な生徒や学生のために、市で給付している奨学金の新年度受給希望者を三月二十二日から四月三十日まで受けつけます。受給資格はつぎのとおりです。

①学校教育法に規定する大学・高等学校・高等専門学校ならびに盲学校・ろう学校・養護学校の高等学校(各種学校は除く)に進学

しようとするものと在学中に在るもの。

②保護者が市内に六か月以上住んで生活保護法に規定する被保護者であるかこれに準ずる方で、その所得が同法による生活保護基準の基準生活費の百分の百五十以内のものであること。

奨学金は高等学校、高等専門学校またはこれらに準ずる学校の生徒は生活保護家庭月

額四千元、その他の家庭月額三千五百円。大学またはこれに準ずる学校の学生は月額六千元。

受給希望者は奨学生採用願書(福祉第一課にあり)を提出し、保護者の所得証明書(昭和四十九年分源泉徴収票が市民税課発行の同年分所得証明書、住民票(家族全員)の写し、在学証明書(新年度発行)を添えて市社会福祉事務所福祉第一課(市内紀寺町、電話〇六五〇一四番)へ申込んでください。

# 下水処理区 域ひろがる

下水事業の進捗にともなう、つぎの各町の一部で三月二日から浄化槽のいらない水洗便所が使えるようになります。ほとんど新たに下水処理区に入ったのは九百三十八戸で、これまでの分を含めて一万六千七百八十六戸が下水道の便益を受けるわけです。

中町▽三町町▽二町町▽鳥見町▽雑司町▽多門町▽川上町▽肘塚町▽紀寺町▽石木町▽五条町▽大安寺町

# 市役所の執務時間

市役所の執務時間が四月一日から始業時間が今までのより二十分早くなりますが、終業時間は変わりません。

▽始業 午前八時三十分  
▽終業 午後五時(土曜日は午後零時三十分)

来月から

# 水道料新料金

奈良市の水道料金は、ことし一月一日付で改定されます。

したが、この新料金はすでにお知らせしましたとおり二月份として支払っていただく料金から適用されています。二月份の納付(訪問集金)は三月・四月とさせていただきます。ご承知をお願いします。

水道局

# 農振計画の変更案縦覧

奈良農業振興地域整備計画の変更で、昨年十月末までに農用地域から除外したり、あるいは農用地への編入が申請されたものについての変更計画案が三月三日から市役所農林課で縦覧されています。

期間は四月一日まで。

この変更計画案を見て不審な点があれば縦覧終了後十五日以内と同課へ申し出てくだ

# 新自治会長

【地区連合会長】帯解地区 岡田庄太郎(今市町三丁目)  
【町内自治会長】東城戸町 中島清一(八軒町)中村延一(中町)滝井光郎(池田町)中室美寿男(山村町)中室勇(興隆寺町)岡本嘉嗣(南

尾町)久保克美(北椿尾町)宮本利雄(南庄町)和井田輝夫

# 花木即売会

市花木園芸組合の花木即売会が三月二十七日午前十時から同二十八日の午後五時まで、学園大和町公民館(学園大和町第一号公園)で開かれます。ツゲ、ウメ、サツキ、カイヅカイブキなどが即売されます。

# 身障者民謡講習会

今まで木・土曜日に市身体障害者福祉センター「みどり」の家(法蓮池の池、電話〇五七五七番)で開いていた民謡講習会は四月一日から毎週金曜日午後二時~同四時と同六時~同八時に変更されます。市内在住の障害者なら誰でも参加できます。くわしいことは同センターまで。

# 行政相談所

国の行政機関をはじめ、国鉄、電々公社などの仕事や、県・市が国から委任された補助金を受けて行なっている仕事について苦情や要望・意見を承り、相談に応ずるため、つぎのように一日行政相談所を開きます。相談はもちろん無料で秘密厳守です。お気軽にお越しください。

三月二十七日(土)

関係なく、つぎの市内五人の行政相談委員宅でも常時

# 狂犬病予防注射



51年度第1回の狂犬病予防注射と登録を4月中に次の日程で行ないます。犬を飼っている人はもちろん最寄りの注射場へつれてきてください。生後3か月以上の犬は登録と注射を受けないと狂犬病予防法で罰せられます。料金は登録料300円と注射料540円、注射済証交付手数料60円がはいります。

月日	時 間	場 所
4・1 (木)	9:00~10:30 11:00~12:00 1:30~4:00	法華寺 華南会館 法蓮寺 日本穀物検定協会 佐市 保小舎電版小
4・2 (金)	9:00~10:00 10:30~11:30 1:00~2:00 2:30~4:00	佐市 石町之阪 伏見 小見小
4・3 (土)	9:30~11:30	伏見 小見小
4・5 (月)	9:00~10:00 10:30~12:00 1:00~2:30 3:00~4:00	奈良 飛鳥山 奈良 飛鳥山
4・6 (火)	9:00~9:30 10:00~11:30 1:00~2:00 2:30~4:00	富雄 三見小 富雄 三見小
4・7 (水)	9:30~11:30 1:00~2:00 2:30~4:00	都西 六条
4・8 (木)	9:30~11:30 12:30~1:30 2:00~4:00	都西 六条
4・9 (金)	9:00~11:30 12:30~2:30 3:00~4:00	伏見 連所
4・10 (土)	9:30~11:30	伏見 連所
4・12 (月)	9:30~10:30 11:00~12:00 1:00~2:30 3:00~4:00	西園 日池 西園 日池
4・13 (火)	9:30~11:30 1:00~2:00 2:30~4:00	東精 市街 東精 市街
4・14 (水)	9:30~11:00 12:30~2:00 2:30~4:00	長明 市街 長明 市街
4・15 (木)	9:30~11:00 1:00~2:30 3:00~4:00	山佐 山佐
4・16 (金)	9:30~11:30 1:00~2:30 3:00~4:00	中平 山佐
4・17 (土)	9:00~12:00	西奈良 県民センター
4・19 (月)	9:30~9:45 10:00~10:15 10:30~10:50 11:00~11:30 12:30~1:30 2:00~2:15 2:30~3:00 3:15~3:30 3:45~4:00	中東 川町 中東 川町
4・20 (火)	9:30~11:30 1:00~1:20 1:30~1:45 2:00~2:15 2:40~3:00 3:10~3:30	田部 協生 田部 協生

# 火災共済制度へ

## ご加入をおすすめします

会費(一時納め)  
建物=730円(1日2円)  
家財=365円(1日1円)

火災共済見舞金  
全焼 50万円  
半焼 25万円  
一部焼失 10万円

被災者見舞金  
死亡 50万円  
ケガ 2,000円~30万円

問合せと申し込みは  
市福祉第1課または出張所・連絡所

火災共済制度は四月一日から毎週金曜日午後二時~同四時と同六時~同八時に変更されます。市内在住の障害者なら誰でも参加できます。くわしいことは同センターまで。

# 人集めたみやげ品新作見本市

奈良市(奈良観光物産製造卸組合連合会主催、奈良市など後援)が三月二・三日両日商工会議所で開かれました。これで六回目。

会場には鹿の角細工や能面をはじめぬいぐるみや美術品、おもちゃ類、食品など約六千点が出品されました。中でも奈良の持ち味を生かしたおみやげ品を作ろうと昨年発足した奈良観光土産品研究会協賛の「五徳みそせんべい」や和紙を切り抜いた手づ



育児教室  
奈良保健所(市内八軒町、電話〇六一七)四番)では乳幼児のあるお母さんにつき日程で育児教室を開きます。費用はいりませんが筆記用具、母子手帳をお忘れなく。受講希望者は電話かお申し込みください。時間は各日午後一時~同三時。

4月7日 育児の疑問に答えて  
4月14日 乳幼児の精神発達  
4月21日 乳幼児の栄養  
4月28日 乳幼児の病気について

3歳児健康診査  
昭和四十七年十月二日~同四十八年四月一日に生まれた三歳児の健康診査をつぎの日程で行ないます。小児科医の診察のほか知能テスト、歯科検診、育児相談、身長・体重・胸囲の測定、検尿を行

日中友好協会の  
日中文化講座  
奈良・西安両市が友好都市提携をして去る二月で二周年を迎えました。日中友好協会(正統)奈良県本部では、中国をよりよく理解してもらうための第二回日中文化講座を開きます。

講座内容は中国の近代史、政治・労働・教育の分野にわたり新中国の歩み、中国の世界観、労働者の生活、学習運動と文化財保護、中国の紹介など。開講日は三月二十六・二十七日、四月二・三日の午後六時~八時半で資料代として五百円が必要。

## 市政映画

ご利用ください

市政映画「清掃」「福祉都市宣言のまち奈良」「奈良」1・2部

「ようこそ西安市友好代表団」昭和49年10月、孫長興西安市革命委員会主任代表団が奈良を友好訪問したときの記録映画

奈良市紹介映画「古都奈良」日本・中国・韓国・英語・スペイン各国語版

いずれも16mmカラー、20~30分ものです。自治会・学校・団体・職場その他各種集会でご利用ください。上映希望の向きは下記へ申し込んでください。

奈良市広報公聴課  
電話〇1111番(代表)

## 交通災害共済組合

あなたも、ぜひどうぞ!

会費  
1年会員=730円(中学生以下500円)  
3年会員=2,000円(中学生以下1,400円)  
見舞金 5,000円~1,000,000円

申し込みは市福祉第1課または出張所・連絡所へ

同本部付属日中友好学院(市内福智院町、電話〇八〇一九番)へ申しこんでください。